

5. 陸生哺乳類

兵庫県下で現在確認されている陸生哺乳類の外来生物は以下の8種である。

- ・ヌートリア
- ・アライグマ
- ・ハクビシン
- ・イノブタ
- ・チョウセンイタチ
- ・ドブネズミ
- ・クマネズミ
- ・ハツカネズミ
- ・台湾リス

ヌートリア、アライグマについて

本報告書の各論では、特にヌートリアとアライグマの2種についての生態、移入過程、県下の分布情報、影響、被害状況、対策事例、考えられる対策をまとめた。

ヌートリア、アライグマ以外の注意を要する哺乳類について

ヌートリア、アライグマ以外の哺乳類に関しては、本報告書では詳しく取り上げないが、以下のようなものをはじめ、その他の外来哺乳類にも注意が必要である。

- ・イノブタ

近年、淡路島北部では野生化したイノブタの被害が問題になっている。

- ・ハクビシン

特定外来生物被害防止基本方針では、「概ね明治元年以降に我が国に導入されたと考えるのが妥当な生物を特定外来生物の選定の対象とする。」とされ、ハクビシンについては、それ以前に移入の記録が残っている。

ハクビシンについては、アライグマと同様な対策が必要になると考えられる。

- ・その他

兵庫県での分布や被害の情報はない台湾ザルや、まだ情報が少ない台湾リスなど、他の地域では大きな問題になっているものもある。